

# 安保法制違憲国賠訴訟控訴審第2回期日

## 報告集会プログラム

ZOOM 配信

2021年4月26日(水) 17:00～18:30

1 あいさつ	代理人弁護士 福田 護
2 裁判の報告	証人 半田 滋
代理人弁護士 黒岩 哲彦	代理人弁護士 杉浦 ひとみ
代理人弁護士 角田 由紀子	代理人弁護士 古川(こがわ) 健三
代理人弁護士 児玉 勇二	代理人弁護士 清水 洋二
代理人弁護士 橋本 佳子	代理人弁護士 有岡 佳次朗
代理人弁護士 武谷 直人	代理人弁護士 棚橋 桂介



[Zoomに参加]

<https://us02web.zoom.us/j/81992712390?pwd=SGV5Z0xqZGFzM3d5d0lkMjZHaVVKQT09>

ミーティング ID: 819 9271 2390

パスコード: 626975

※これからの裁判(東京高裁)

差止訴訟控訴審裁判第1回期日	5月20日(木)14:00	【101号法廷】
差止訴訟控訴審裁判第2回期日	9月10日(金)15:00	【101号法廷】
群馬控訴審 第1回期日	5月27日(木)14:00	【101号法廷】
国賠訴訟控訴審裁判第2回期日	月 日( )	【101号法廷】

<経過>

15:00～ 第2回口頭弁論 101号法廷 開廷

17:30～ 報告集会 ZOOM 配信

## 証すべき事実

1 証人半田滋により、新安保法制のもと、日本が国際紛争に巻き込まれる危険が増大していること、これにより控訴人らが従前より明らかに危険な状態に置かれておりそれは単なる推測などではなく現実生じている世界情勢に裏付けられていること、新安保法制法の適用過程とその問題性、危険性を立証する。

## 尋問事項

- 1 地位・経歴等
- 2 日本はこれまでアメリカの戦争にどう対応してきたか（主に湾岸戦争以降）。その中で何が、日本が直接の戦争当事国になることを防いだか。
- 3 集团的自衛権行使容認等の新安保法制とアメリカの世界戦略との関連性。
- 4 新安保法制法と新日米ガイドラインとの関係、米軍

と自衛隊との実態関係の進展。その下で、アメリカの戦争に、日本はどう組み込まれるか。

- 5 新安保法制の下での自衛隊の活動、装備等の実態はどう変貌してきているか。
- 6 イラク戦争の現地の実情とそこでの自衛隊の活動の実態、武力行使の危険性。
- 7 南スーダンにおける武力紛争の実態とそこでの自衛隊のP K O活動の危険性。
- 8 北朝鮮情勢とミサイル防衛問題及び新安保法制の武器等防護の発動等の危険性。
- 9 中国情勢とこれに対する自衛隊と米軍との共同体制の下での新安保法制の危険性。
- 10 イラン情勢の推移、米国の有志連合と自衛隊中東派遣との関係、その新安保法制法の下での危険性。
- 11 その他関連事項。



出版社：弓立社；初版（2021/4/2）

発売日：2021/4/2

価格：2750円

軍事は政治の延長であるから、「軍事オタク」に軍事は語れない。政治を選択する主権者としての国民が知っておきたい軍事の常識がここにある。

——柳澤協二（元内閣官房副長官補）

専守防衛の国是を逸脱し、敵基地攻撃にまで踏み込みつつある自衛隊。差し迫った危機とは、政治がつくりあげた虚構なのか。変貌を遂げる日本の実像に軍事面から迫る。

半田 滋（はんだ・しげる）

1955（昭和30）年栃木県宇都宮市生まれ。防衛ジャーナリスト。

獨協大学非常勤講師、法政大学兼任講師。下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社。

東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員。11年1月より論説委員兼務。20年3月中日新聞社退職。1993年防衛庁防衛研究所特別課程修了。92年より防衛庁取材を担当し、米国、ロシア、韓国、カンボジア、イラクなど海外取材の経験豊富。防衛政策や自衛隊、米軍の活動について、新聞や月刊誌に論考を多数発表している。04年中国が東シナ海の日中中間線付近に建設を開始した春曉ガス田群をスクープした。07年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞（大賞）を受賞。

著書に、『日本は戦争をするのか——集团的自衛権と自衛隊』（岩波新書）、『集团的自衛権のトリックと安倍改憲』（高文研）、『改憲と国防——混迷する安全保障のゆくえ』（共著、旬報社）、『防衛融解——指針なき日本の安全保障』（旬報社）、『「戦地」派遣——変わる自衛隊』（岩波新書）＝09年度日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞受賞、『自衛隊 vs. 北朝鮮』（新潮新書）、『闘えない軍隊——肥大する自衛隊の苦悶』（講談社＋α新書）、などがある。

全国裁判の状況

提訴	地裁名	提訴日	結審	判決日	控訴審	控訴日	結審	判決日	備考
1	札幌	2017/1/16	2019/1/18	2019/4/22	札幌高裁	2019/5/6	2021/1/27	2021/5/26	
2	釧路	2017/5/26	2020/12/22	2021/3/16	札幌高裁				
3	福島(いわき支部)	2016/4/26							
4	群馬(前橋)	2017/3/29	2020/1/22	2020/10/1	東京高裁	2020/10/6			
5	埼玉	2016/6/20	2020/11/27	2021/3/17	東京高裁				
6	東京 国賠	2016/4/26	2019/7/25	2019/11/7	東京高裁	2019/11/20			
7	東京 差止	2016/4/26	2019/10/30	2020/3/13	東京高裁	2020/3/27			
8	女の会(東京)	2016/8/15							
9	神奈川(横浜)	2016/9/16							
10	愛知(名古屋)	2018/8/2							
11	長野	2016/7/26	2021/1/29	2021/6/25					
12	山梨(甲府)	2017/8/29	2020/12/22	2021/3/30	東京高裁				
13	京都	2016/12/19	2021/4/15	2021/8/19					
14	大阪	2016/6/8	2019/9/9	2020/1/28	大阪高裁	2020/2/7	2020/12/22	2021/4/16	
15	岡山	2016/6/17							
16	広島	2016/9/16	2021/7/21						
17	山口	2016/12/26	2021/3/3	2021/7/21					
18	高知	2016/5/6	2019/12/27	2020/3/24	高松高裁	2020/4/6		2020/9/16	地裁差戻し
	同 差戻し審	-							
19	福岡 国賠	2016/11/16							
20	福岡 差止	2016/11/16	2021/1/27	2021/6/9					
21	長崎	2016/6/8	2021/3/1	2021/7/5					
22	大分	2017/1/10							
23	宮崎	2017/3/29	2021/1/6	2021/5/26					
24	鹿児島	2017/6/12							
25	沖縄(那覇)	2017/6/23	2019/12/24	2020/6/30	福岡高裁那覇支部		2020/11/19	2021/2/18	

